



# なごみ つうしん

2014年

NO.16



八月二十四日(日)に施設にて、この夏の最後を彩る一大イベント『納涼祭』を開催しました。午前中は2階でなごみオリジナルのおみくじやヨーヨー釣り、輪投げに射的などお祭りの催しものを楽しんでもらい、午後からはたこ焼き、アイス、焼き肉といった数種類の屋台の食事を堪能して頂きました。お祭りの最中には「北田辺なごみ」の職員の方が紙芝居の朗読をしてくれたり、職員手作りの『お神輿』を「わっしょい!わっしょい!」と掛け声を言いながら皆様の目の前を担ぎ周り、祭りを盛大に盛りあげてくれました。家族様ならびに地域の方々の多くのご参加のおかげもあり、今回の納涼祭も入所者様にとって楽しい夏の思い出になったかと思えます。パークサイドなごみは今年で開設三年目となりました。家族様のご協力なしではこうして無事に納涼祭を終える事もできませんでした。これからも職員一同入所者様の為に努力していきたいと思っておりますので、今度もどうぞよろしくお願い致します。



## 敬老の日

九月十五日(月)は敬老の日。敬老の日は「多年にわたり社会に尽くしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う」という国民の祝日とされています。また、それと共に高齢者の福祉について関心を深め、高齢者の生活向上に努めるよう若い世代に促す、という気持ちが込められていくそうです。

## 施設長就任の挨拶

八月十一日より、柄川武子先生に代わりまして着任致しました松田直信と申します。目下、一日も早く仕事を覚え、又職場にも馴染まんと奮戦の最中であります。先ず、入所の方々の病歴を見て驚いたことがあります。それは転倒による大腿骨折という共通するエピソード。これが非常に多い。まだ一割も目を通しておりませんが初印象です。想像してみても下さい。ある日突然、大腿骨の骨折に見舞われ動けなくなり、例外なく入院になり、自由は大きく制限され、生活は一変します。恐らくは、今このほとんどの人が振り返り回顧して悔恨、正に「人生は一寸先は闇」と思っております。これからは、正に「人生は一寸先は闇」と思っております。これからは、正に「人生は一寸先は闇」と思っております。これからは、正に「人生は一寸先は闇」と思っております。

施設長 松田 直信

介護老人保健施設  
パークサイド  
なごみ  
医療法人河和会  
大阪市東住吉区公園南矢田3-19-12  
tel 06-6606-2211  
http://psnagomi.com